

年月日	政党との関係	反合権利・争議闘争	日立・東芝争議の状況
1	88.03.23	日本鋼管人権裁判解決	
2	88.05.25	日本鋼管鶴見造船差別争議解決	
3	88.05.31	東電神奈川支援共闘会議結成	
4	88.05.31	日産厚木除名解雇争議解決	
5	88.12.28	池貝鉄工指名解雇争議解決	
6	89.11.21	全労連結成:総評解散、「連合」結成	
7	90.01.13	神奈川労連結成	
8	90.08.30		日立佐藤サービス残業申告報復事件地労委申し立て
9	90.08.31	地労委民主化対策連絡会結成 事務局長池田(労連)	
10	90.12.	連合職場連絡会結成 事務局長村山(池貝)	
11	91.05.17	東電支援共闘中央連絡会結成	
12	91.11.15		日立横浜支援共闘会議結成総会
13	91.11.28		田中争議最高裁敗訴(残業拒否解雇を合憲と不当判決)
14	91.12.08		日立男女差別原告団結成集会
15	92.03.03		日立男女差別事件東京地裁提訴(東京5、神奈川4)
16	92.10.19		日立賃金差別事件地労委申し立て(東京、神奈川、茨城、愛知計19名、神奈川5名)
17	92.12.15		日立争議団共闘会議再建総会
18	92.12.24	全税関争議に反動判決(横浜地裁)	
19	93.07.13	東電横浜地裁結審日行動(昼デモ620名、総括集会150名)	
20	93.08.07	党中央が争議対策各都県代表会議招集:三堀他、各都県:労対部長、支援共闘、弁護団、原告団が参加。情勢認識・原点問題・団結問題(ゼッケンなど)討議	
21	93.08.24	東電前橋地裁原告勝訴判決	
22	93.11.08	山武差別争議解決	
23	93.12.27	小田急差別争議解決	
24	94.02.27	連合職場連絡会 事務局長E(山武)	
25	94.02.06		日立茨城総行動(1500名、神奈川120名、バス3台)
26	94.03.22	雪印差別争議解決	
27	94.03.31	東電長野地裁原告勝訴判決	
28	94.04.		日立包囲神奈川総行動(4月ホップ、5月ステップ、7月ジャンプ行動)
29	94.04.24	東電ジャンボフェスタ(8000人)	
30	94.05.23	東電千葉地裁原告勝訴判決	
31	94.11.15	東電横浜地裁原告善勝利判決(地裁前1200名、報告集会1200名、昼デモ1500名)	
32	95.06.	共産党の東電本店申し入れ計画を知る。国会議員団との事前話し合い(電気料金問題だけにする)	
33	95.06.10	共産党、志位書記局長が東電本店へ争議について申し入れ	
34	95.06.10	党国会議員団と争議団話し合い: 今後は事前に連絡し、調整して対応することを確認	
35	95.06.27		日立佐藤サービス残業申告報復事件地労委全面勝利命令
36	95.08.29		東芝提訴団神奈川地労委に申し立て
37	95.09.05	関電最高裁判決:原告勝訴確定	
38	95.12.	赤旗大衆運動部と解決報道打ち合わせ:1月に赤旗連載報道計画あり。年明けにポツ	
39	95.12.25	東電争議全面解決	
40	96.01.01	赤旗、宮本議長新年インタビュー関電最高裁判決を最大評価	
41	96.01.08	東電原告団事務所に「グラフこんには」内野記者取材:1/1赤旗記事(宮本発言批判)を中央に伝える	
42	96.01.15	党中央大経営対策委員会責任者犬飼氏と東電の原告団長N・同事務局長Fが話し合いを行う(1/8赤旗記者への伝言がきっかけ) 関電最高裁判決翌日の赤旗記事を見せ「貴方も解決の力になると賞賛している」と犬飼が発言。 それに対し「東電闘争がその時期大筋合意していること中央は知っていた」と反論。礼儀の記事くらいわかるはず	
43	96.01.17	東電争議全面解決中央報告集会(1800名)	
44	96.01.24		日立神奈川争議団結成
45	96.03.07		日立闘争神奈川支援共闘会議準備会結成
46	96.03.09	東電全面解決神奈川報告集会(横浜プリンスホテル、1500名)	
47	96.03.25	東電争議団の一部金よこせグループの盲動が始まる。	
48	96.03.25	東電解決金申し入れ書:神奈川原告W氏夫人Mが神奈川原告団長宛	
49	96.03.27	同W氏夫人Mが二瓶中央団長に解決金申し入れ書	
50	96.04.04	神奈川原告M氏、二瓶団長に解決金等申し入れ書	
51	96.04.04	解決金申し入れ書:上記Mが神奈川原告団長宛に	
52	96.04.05	原告団への意見書(解決金):元中央原告団副団長O	
53	96.04.09	原告団への解決金の請求:東京原告M	
54	96.04.26		オール日立争議団合宿(田中含め全面一括解決合意)
55	96.05.07		日立中研都労委命令(7名勝利、5名棄却)
56	96.05.19	解決金請求書:神奈川原告W氏夫人Mが神奈川原告団長宛	
57	96.06.19	県委員会に新組織(電力連絡会)発足について相談	
58	96.06.26	県委員会から新組織についての見解( )	
59	96.07.06	東電争議団の一部金よこせグループY、T、I、Uが県委員会に指導要請	
60	96.07.11	20回大会5中総宮本議長冒頭発言:大企業の思想差別との闘争は戦前のたたかい匹敵。県委小池書記長も東電闘争の意義と職場の変化について発言	
61	96.07.26		第1回日立神奈川団結キャンプ(箱根仙石原)
62	96.09.20		日立争議支援神奈川大集会(600名)共闘結成前段行動
63	96.11.09	神奈川電力連絡会結成	
104	97.01.10		日立賃金差別都労委全面救済(全員)

	年月日	政党との関係	反合権利・争議闘争	日立・東芝争議の状況
105	97.01.16	元東電原告団副団長O・元Y解雇葬儀原告Yが、県委員会労対部と話し合い		
106	97.01.25			日立争議を支援する神奈川の会結成
107	97.01.25		東電中央原告団臨時総会(南部労政):解決金配分案全員一致で承認	
109	97.05.24		東電神奈川原告団・神奈川支援共闘会議解散総会(熱海)	
110	97.06.		東電争議団の一部金よこせグループの盲動続く	
111			元神奈川原告U,O,M,Y,W婦人M等支援共闘に質問書	
112	97.07.01		元神奈川原告Mが、支援共闘池田事務局長に質問書	
113	97.07.19			オール日立団結キャンプ(箱根仙石原、138名)
	97.07.30		元中央原告団副団長Oら、支援共闘代表委員にも質問書と手紙	
115	97.11.12		中部電力争議解決	
116	97.11.15			日立闘争神奈川支援共闘会議結成
117	98.01.25			日立争議団共闘第7回総会で中研提訴団が(4都県支援組織会議ととかく噂のある
118				人の参加は遠慮してもらいたいと(池田日立神奈川支援共闘批判)発言。
119	98.02.11			日立、1都3県支援組織第一回会議(後5・20、8・5開催)
120	96.05.05	元中央原告団副団長Oら、神奈川県委員会にも同左文	元中央原告団副団長Oらが、元神奈川原告団事務局長宛	日立篠田より日立神奈川支援共闘会議へ謝罪文
121	98.05.18	元中央原告団副団長Oの文書を県委員会に説明する(電力連絡会M・I)		
122	98.05.23		「連合」職場連絡会 事務局長にF(電力連絡会)	
123	98.05.26		電力連絡会日立争議篠田氏に神奈川支援共闘会議に関わる件で説明する旨を伝える	
124	98.06.21		日立篠田氏より「説明は断る」とFAXにより回答	
125	98.07.14		電力連絡会会長名で篠田氏に説明を受けるよう再度申し入れ	
126	98.07.22		日立篠田氏より「7/14付け申し入れの件、再検討して出来るだけ早い時期に回答する」と回答が来る	
128	98.09.		県総行動実行委員会事務局長交代(池田氏排除)	
129	98.09.25		石播争議解決	
131	98.10.12	電力連絡会(M,I)と県委、質問状で第1回話し合い「会館の建設についてはあまり相談を受けていない」		
132	98.11.28			東芝支援する会結成総会(東電M事務局長)
133	98.12.14		千代田争議解決	日立賃金差別、愛知地労委命令全面救済(全員)
134	98.12.23		神奈川電力労働者会館竣工式典(県委員会・中路氏・神奈川労連より祝儀各1万円、高橋労連議長が祝辞)	
136	98.12.25		反合対策委員会で大企業の横暴を規制する運動論議される	
137	98.12.		千代田化工山下が会社と秘密交渉開始	
138	99.01.01			日立第1回元旦決起集会(59名)
139	99.01.16			日立1都3県支援組織会議(神奈川欠席のまま中央支援共闘組織結成を合意する)
140	99.01.25			日立神奈川争議団と県労連が支援共闘問題等で意見交換
141	99.01.		国労人活・闘争団支援共闘事務局長の池田氏就任を労連拒否	
142	99.01.30		大企業の横暴を規制する神奈川連絡会準備会開催	日立争議団共闘会議総会(一致点で共闘する方針に反し、1/16決定を追認する)
143	99.02.14		労連4役と準備会話し合い:結成で合意	
144	99.02.17		大企業の横暴を規制する神奈川連絡会結成	
145	99.02.23		労連幹事会が別組織を決定:合意を反古	
147	99.03.06	県委の鈴木県大経営責任者に「連合」職場連絡会事務局長Fが、大企業規制連絡会問題で指導を要請		
148	99.03.13			神奈川連絡会と日立共闘共同ビラ:戸塚地域宣伝
149	99.03.16			神奈川を除く争議団、日立共同要求提訴団(44名)を結成し中労委和解に入る
150	99.05.09		神奈川連絡会と東芝共同ビラ:幸区地域宣伝	(夜:日立争議支援中央連絡会議準備会を結成)
151	99.09.19			賃金差別地労委結審日
152	99.06.05	県委野口・鈴木氏と「連合」職場連絡会事務局長Fが、大企業規制連絡会問題で初めての話し合い(鈴木、合意の経過反古はまずいと説明、県委が話し合いの仲介を約束)		
154	99.06.15		県労連が大企業対策会議相談会一方的に開催:激しい論議	
155	99.06.17	元神奈川原告W氏夫人Mが小池書記長と話し合い		
156	99.06.27	元神奈川原告W氏夫人Mが中央委、県委に手紙送付		
157	99.07.17	県委野口・中島と「連合」職場連絡会事務局長Fと話し合い(相談会の一時的開催に抗議)		
158	99.07.22		労連が一方的にリストラ対策会議結成:連絡会問題を追及	
159	99.07.24	三堀氏より元神奈川原告W氏夫人Mへ回答		
160	99.08.20	野口「連合」職場連絡会事務局長Fに県委が大企業規制連絡会問題での見解を伝えたいとの電話		
161	99.08.22	鈴木「連合」職場連絡会事務局長Fは 連絡会側は、結成経過は決定的要因でないと電話		
162	99.06.26	県委(野口・鈴木)一大企業規制連絡会(T・S・F)常任委員会決定4項目、民主的手続きに違反と反論。今後話し合い確認		
163	99.09.		県春闘共闘事務局長交代(池田氏排除)	
164	99.09.		労連反合対策委員会への県争・連合職場オブザーバー参加拒否	
165	99.11.20		千代田化工支部結成 県委はレセプション拒否	
166	99.12.08		関西電力争議解決	
167	99.12.12		大企業職場全国交流集会(事務局団体に東電)翌00年より集会開かれず	
169	99.12.20		反合対策委員会から3団体排除	
170	00.01.01			第2回元旦決起集会(54名)
171	00.03.04	千代田支部総会に県書記長など参加、支部指導部更迭		
172	00.03.07			全労連の仲介で1都3県合意、確認文書を作成する
173	00.03.16	電力関係党支部・関係党員会議:質問・意見続出		
174	00.03.28			全労連が上記合意を反故にする
175	00.05.02			1都2県に中労委裁定出る
176	00.05.16			賃金差別事件神奈川地労委命令(全員全面救済命令)
177	00.05.30			再度、神奈川労連経由での話し合い(パラレル交渉で合意)を反故にする

年月日	政党との関係	反合権利・争議闘争	日立・東芝争議の状況
178			(残されるのは1都2県の中央連絡会準備会に無条件で入ることのみ)
179	00.07.28		日立包囲一日行動に延べ300名(労連が指名停止要請書に押印を拒否)
180	00.08.25		第2回団結キャンプ(箱根仙石原、44名)
181	00.08.26	地労委民主化対策連絡会総会 事務局長K氏(千代田)	
182	00.09.12		日立1都2県、神奈川を除き中労委和解
183	00.09.15	県委が労連4役と大企業連絡会招集:大企業規制連絡会の解散指導	
184	00.09.27		県労連第二回幹事会で「日立争議の経過と今後の対応について」文書出る
185	00.09.	労連大会で池田氏退職(事実上の解職)	
186	00.09.	中央が国労大会前に「4党合意」容認派を擁護	
187	00.10.04		日立支援共闘・争議団、労連文書等に対する見解
188	00.10.13		新婦人県本部、支援共闘から脱退通告
189	00.10.		男女差別をなくす会総会(K事務局長で原告の意志に反する行動)
190	00.10.25	県労連4回幹事会、「日立争議の見解と態度」文書配布	
191	00.11.08	第 回県委「争議を巡る幾つかの誤りとそれを克服する正しい指導方向について」決定	
192	00.11.16	北東地区委が千代田化工3氏に3ヶ月の権利停止	
193	00.11.21	北東地区委にて県委決定の報告集会	
195	00.12.24	川崎南部地区「争議をめぐるいくつかの誤りとそれを克服する正しい指導方向について」報告	
196	00.12.09	県争第23回総会(県委野口労対部長挨拶、労連高橋議長メッセージ)	
197	00.12.21	川火支部会議にて、内藤地区委員長「県委もまずい」	
199	01.01.07	「米軍事故を告発する歌の集い」でSさんに会館使用妨害	
200	01.01.08	差別是正争議をめぐる不団結問題を解決するための取り組みの経過と今後の指導方向について	
201		1. 00. 11. 08総会の決定はなにを決めたかを説き	
202		2. その後県争、連合他の関係党委員会議を開いたがなにも解決できず	
203		3. 日立、東芝、千代田の誤りを指摘	
204		4. 県が一団となり指導を貫徹する	
205		日立神奈川争議をめぐる起こっている党規律にかかわる異常な事態についての県委員会の見解	
206		1. 北東地区委員会が印刷機使用を断ったことについて	
207		* 1014支部とS同志の取った態度は極めて異常である	
208		たった一度の申し入れ行動の経過の事実を歪曲し非難、その後何らの「指導」もなく、組織名と個人名を明らかにして公然と全県下に誹謗中傷をした	
209		2. 日立争議団、佐藤氏、日立関係支部の取った異常な態度	
210		* 争議団内部の問題を県党にだした2団員の異常な行動に対しても申し入れに「重大な組織干渉」と組織名、個人名をだして県党が攻撃	
211		3. これらを巡る一部党員の異常な行動の本質として	
212		* 日立争議と県争に関係する一部党員が差別争議を絶対化し、それに批判的な機関や党員に乱暴な非難、攻撃を行っている	
213		また、党機関の指導や会議招集を拒否し、党的ルールを無視し県党の指導を真剣に検討して誤りを正す立場に立とうとしない	
214	01.02.12		日立争議団会議で解決要求書を全員一致で決定
215	01.02.13		神奈川労連に男女差別団体署名推薦を依頼する、3月に拒否回答
216	01.02.15	「連合」職場連絡会、県委と第1回会議。(県決定の反民主的手続きに論議集中、県委は党規約に違反次会回答せよ)	
217	01.02.24	東電関係党支部・支部長会議(討議内容から争議問題は除かれる)	
218	01.02.28		労連幹事会、日立団体署名のよびかけ団体・団体署名できない旨文書配布
219	01.03.		神奈川労連が男女差別団体署名全国行動に妨害を始める(7府県に文書送付)
220	01.03.16	「連合」職場連絡会、県委と第2回会議。(決定の手続き論議、途中海老根が県側に立ち連絡会攻撃。最後は県委野口氏が閉会を宣し席を立ち、以降会議開かれず)	
221	01.03.19		横浜北東地区委員会印刷機使用拒否
222	01.03.21		第1回争議解決自主交渉開始(解決要求書提出)
223	01.03.30	神奈川電力連絡会関係党員会議:県委より会議目的示されず意見続出、印刷機拒否問題等出る	
224	01.04.11	北東地区委が千代田化工1名に再度3ヶ月の権利停止	
225	01.04.15	電力連絡会S氏、横浜北東地区委員会に文書送付	
226	01.04.26		東芝提訴団、地労委勝利命令
227	01.04.26		男女差別東京地裁裁判再開す
228	01.05.		東芝、地労委命令を不服として中労委へ再審査申立
229	01.05.09	労連15回幹事会で神奈川労連の争議に対する基本的態度と「日立支援共闘」の問題	日立支援共闘から労連離脱、他団体に広がる
230			
231	01.05.11		横浜地区労、日立支援共闘に増田氏を代表委員、幹事にさせないことを決定
232	01.05.23	電力連絡会S氏、竹山支部に文書	労連幹事会で2団体(連合職場、地労委民主化)を協議から外す
233	01.05.30	川火支部会議にて県委(関、田母神、野口)との話し合い	
234	01.06.01	電力連絡会M、Iが県委に質問状持参	
235	01.06.14	千代田化工、山田さん除籍	
236	01.07.	党横浜市議団が対市要請行動の参加拒否	
237	01.07.15	電力連絡会S氏、横浜北東地区委員会に文書送付	
238	01.07.25	電力連絡会S氏、横浜北東地区委員会に再質問書送付	
239	01.08.01		地労委民主化、「労連の一連の文書等に関する見解」
241	01.08.06		NKK鶴見中高年差別争議解決
242	01.08.23		地労委民主化対策連絡会議の運営に関する労連の見解
243	01.08.31	電力連絡会M、Iの質問状について、県委員会「聞きたいことがある」と呼び出し	
244	01.09.10		地労委、東芝へ「地労委命令」の履行勧告
245	01.10.09	千代田化工、佐藤、木戸さん除籍	
246	01.10.12	電力連絡会M、Iが県委と第一回話し合い	労連、地労委民主化対策会議から離脱

	年月日	政党との関係	反合権利・争議闘争	日立・東芝争議の状況
248	01.12.25	北東地区委、神奈川争議団からの質問状についての見解		
250	01.12.	北東地区委、千代田化工支部三氏の「除籍」措置について		
252	02.01.18	県常任委員会「差別争議の指導方向について」決定		
253		県常任委員会「日立争議についての見解」発表		
254	02.02.01	県常任委「大企業職場差別争議の今後の指導方向について」決定		
255	02.02.24			宮崎、日立争議団退団 T弁護士:宮崎の代理人を辞任
256	02.02.26			第1回中労委和解交渉開始(3・16宮崎退団別交渉、中村条件付合意)
257	02.03.01	オリジン5号発行(…神奈川問題資料集)東電神奈川金よこせグループ(中心は元Y解雇葬儀原告のY)		
258	02.03.07	横浜中央地区委、県決定徹底の支部長会議開催		
259	02.04.06	1014支部 県、横浜中央、北東地区委に29項目の質問状提出		
260	02.04.12		池貝倒産解雇争議解決	
261	02.04.22	党横浜市議団対市要請で日立争議団と同席拒否		
262	02.05.13			東芝提訴団、中労委結審
263	02.05.13			東芝不当配転事件で地労委申し立て
264	02.06.	党西南地区委日立争議団に宣伝カー利用拒否		
265	02.07.03			日立第5回中労委和解交渉(交渉内容合意)
267	02.07.29			日立、中労委和解調印式・解決報告集会
268	02.08.28	1014支部 県、横浜中央、北東地区委に2回目の質問状提出		
269	02.09.27	1014支部 県委よりに発信日付のない回答しない旨の「回答」文書受領		
270	02.10.10			県労連、争議支援統一行動(秋行動)より東芝争議を外す
271	02.10.30	1014支部 県、横浜中央、北東地区委に3回目の質問状提出		
272	02.11.24			日立、中村退団の意思表示
273	02.11.30			日立神奈川争議全面解決報告集会(400名)
274	02.12.07		県労連、日立争議の解決と終結に共闘、争議団に事実を歪曲し攻撃	県労連、東芝提訴団への質問を発表
276	03.01.01			東芝提訴団第一回元旦集会(67名)
277	03.01.26		川崎争議団総会。東芝提訴団員への暴力デッチ上げ起きる	
278	03.01.27			神奈川労連「宮崎文書」を幹事会で討議することを参加組織に事前通知
279	03.01.29			東芝提訴団、E団員「傷害事件」をデッチあげ県労連へ
280	03.02.01			日立・宮崎争議勝利報告集会(県労連高橋副議長、県央地区委員長出席)
281				(当日集会前に神奈川労連幹事会にて報告文書を討議確認す)
282	03.02.05			東芝提訴団「県労連の質問について」回答
283	03.02.13			県労連「東芝提訴団の回答に対する見解」
284	03.02.16			東芝職場を明るくする会総会、別提訴者4名発表
285	03.02.16			県労連、東芝提訴団への支援凍結
286	03.03.01	1014支部 県、横浜中央、北東地区委に4回目	神奈川労連幹事会で「宮崎文書」に対する見解を発表	
287		の質問状提出	(宮崎文書の確認・徹底と共闘会議の総括に対する妨害)(7月まで争議対策方針を策定する)	
288	03.03.08	連絡会(M,I)と県委員会、第2回目の話し合い「会館の建設については何も相談を受けていない。会館竣工祝いにも代表としては送っていない」		
290	03.03.20			東芝争議団、「県労連の文書にある傷害事件の事実と私達の見解」を出す
291	03.03.21		自由法曹団五者連より脱退	
292	03.03.27			東芝「明るくする会」Kが定年4日前に地労委へ分裂提訴
294	03.04.02		国労人活闘争団が県争議団脱退	
295	03.04.16			日立神奈川争議団、宮崎に抗議文出す。
296	03.04.12		国鉄人活、県争議団共闘会議から脱退	
297	03.05.10		県争議団OB会結成呼びかけ	
298	03.05.11			東芝争議団、明るくする会へ二次提訴の呼称を使わぬよう文書申入れ
299	03.05.17		川合篠原弁護士「H事務局長が俺を批判した」ので自由法曹団で東芝に介入すると発言	
301	03.05.27	県委、デッチ上げ「暴力事件」で東芝争議団の袖山、本田再呼び出し		
302	03.05.29			地労委に東芝分裂側、京浜の3名別申立(N、S、H計4名)。同決起集会開く
303	03.06.05	県委へデッチ上げ「暴力事件」で東芝争議団のS氏、回答と質問書提出		
304	03.06.06	川崎中部地区委にデッチ上げ「暴力事件」で東芝争議団S、調査の撤回、再回答を求め質問出す		
305	03.06.07		県労連高橋副議長・Y(元東電原告)ら13人連名による「県争議団OB会結成」批判アピール	
306	03.06.10	県委、日立佐藤団長に呼び出し		日立神奈川争議団、「日立宮崎文書」に反論、
307	03.06.10			日立争議団、日立を巡る県労連の一連の文書について発表
308	03.06.11	連絡会(M,I)と県委員会、第3回目の話し合い「会館の建設については何も相談を受けていない。委員長にも確認したがそういう記憶はないと言っている」		
309	03.06.14		平和学園争議、県争議団共闘会議から脱退	
310	03.06.20		「県争議団OB会」結成集会	
311	03.06.30		神奈川労働弁護団、地労委民主化より脱会	
312	03.07.03			日立、戸塚地域報告集会
313	03.07.05		相模原南病院争議、県争、県央争議団から脱退	
314	03.07.08		自由法曹団、北部地区労が地労委民主化から脱退	
315	03.07.14			日立、鶴見地域報告集会
316	03.07.18	県委、「日立神奈川争議団にかかわる不団結問題の解決のために(案)」		
317	03.07.25			東芝争議、地労委結審及び統一行動
318	03.07.26	1014支部 県、横浜中央、北東地区委に5回目の質問状提出		
319	03.07.30			日立、県央地域報告集会

年月日	政党との関係	反合権利・争議闘争	日立・東芝争議の状況
320	03.08.27		日立中村が解決金裁判の問題で自由法曹団に行って訴える
321	03.08.28	連絡会(M,I)と県委員会、第4回目の話し合い(県委員長出席)「会館の建設についてはあなた方の言うとおりの説明を受けた。しかし、函面は見えていない」	
322	03.09.06	全国一般SMK争議団が県争を脱退	
323	03.09.07		東芝争議団、海老根団員にデッチ上げ事件で抗議文送付
324			東芝争議団金子団員に入院見舞金返却に相手紙を出す
325	03.09.30		東芝分裂側、3名(T,I,S計7名)が追加申立
326	03.10.02	神奈川労働弁護団が地労委民主化、司法反動阻止連絡会議から脱退	
327	03.10.13	東芝争議団、川争W議長へ非民主的運営改善を文書で求める	
328	03.10.25		東芝争議団「分裂につながる東芝のあらたな神奈川地労委の申し立てについて
329	03.11.25	川争議長が「明るくする会」の分裂加盟認める非民主的運営	「明るくする会」、川争に分裂加盟を申込み
330	03.11.27	新日石化学争議、県争を脱退	
331	03.11.29	県労連幹事会「東芝争議の最近の状況について」の文書で団員3人を排除していると事実と異なる攻撃	
332	03.12.09		日立、川崎地域報告集会
333	03.12.12	東芝争議団、川争議長に代表者会議運営と「明るくする会」加盟問題で文書で撤回申し入れ	
334	03.12.27		日立中村、日立争議団に解決金分配で催告書出す。
335			自由法曹団神奈川支部長大川弁護士、同幹事長勝山弁護士
336	03.12.23		日立神奈川争議総括集発行・レセプション開催
337	13.12.26		神奈川地労委、東芝不当配転事件の下野、内田氏へ配転撤回の勝利命令
338	04.01.01		東芝争議団、元旦集会
339	04.01.		東芝、行政訴訟裁判(配転事件取消)を横浜地裁に提訴
340	04.01.26	臨港バスに敗訴判決(横浜地裁川崎支部、尾立裁判長)	
341	04.01.31	川崎合同法律のF弁護士、臨港バス裁判から辞任	
342	04.01.		「日立の中村由紀子さんを励ます会ニュース(No1)」発行
343	04.02.02		日立神奈川争議解決金で大川弁護士との話し合い決裂
344	04.02.04		日立神奈川争議解決金裁判、元団長が被告となる(中村側提訴)
345	04.02.14	県委、デッチ上げ傷害事件で東芝争議団S・H氏に弁護士立ち合いの現場検証に呼び出し	
346	04.02.17	川争代表者会議で、「明るくする会」の加盟を認めない役員会決定を承認	
347	04.02.27	日立神奈川争議「総括集」に対する神奈川労連の態度と見解についてを公表。臨港バス争議F弁護士が県労連幹事会で県争が乱暴なことをしたと報告	
348		臨港バス争議F弁護士が県労連幹事会で県争が臨港バス判決日行動で乱暴なことをしたと報告	
349	04.03.06	川崎公害の宣伝カーを東芝争議団、臨港バス争議に貸さない動きがでる	
350	04.03.08	県委、池田、豊田、佐藤氏らに「日立神奈川争議団総括集」で呼び出し	
351	04.03.18	県委、「デッチ上げ傷害事件」でS、H氏に呼び出し	
353	04.04.07	県委、「日立神奈川争議の「総括集」で展開された党に対するいわれなき攻撃の重大な誤りについて」の決定文書を公表	
354	04.04.07		「日立神奈川争議解決金裁判」の意図と私たちの見解を公表(団・共闘会議)
355	04.04.12	公害市民連絡会が財政検討委員会にて東芝に宣伝カー貸さないと決める	
356	04.04.15	公害市民連絡会幹事会で東芝争議団が宣伝カー貸出中止の見直し再検討申し入れ	
357	04.04.19		中村側が第一準備書面を地裁に提出
358	04.04.20		日立神奈川争議解決金裁判第一回口頭弁論・同支援する会結成総会
359	04.04.22	東芝争議団公害市民連絡会に宣伝カー貸出中止の見直し再検討を文書で篠原弁護士に申し入れ	
360	04.05.21		東芝鈴木、海老根、金子ら連名で団に中労委対応で要望書を出す
361	04.05.24	電力連絡会H氏に、連絡会への不当な攻撃を行った支部長へ抗議文	
362	04.05.29	川崎争議団新体制(議長に東芝争議団五十嵐氏、事務局長に国争争議山下氏)発足	
363	04.05.		東芝分裂提訴側2名(S、M計9名)追加申し立て
364	04.06.06		東芝鈴木、海老根、金子ら連名で団に中労委対応で2度目の要望書を出す
368	04.05.15	厚木地区労議長、県央地区委員長らが県央争議団「なかまの集い」の実行委員に集いを止めると圧力	
369	04.05.16	山中地区労議長が集い準備委員の東電Wに(名を連ねるな、地区労は参加しない、迷惑、止めろ)と電話	
370	04.06.25	厚木地区常幹が、県央争議で共に闘った『なかまの集い』への対応についてを公表	
372	04.07.24	県央争議団「仲間のつどい」集会開催、80名余の参加者で成功	
373	04.07.27	横浜市従労組が定期大会に県争、横争に出席依頼するが出席回答後誤送のためと拒否を回答	
374			
375			
376			
377			
378			
379			
380			
381			
382			
383			

